

2023年11月7日

各位

会社名 株式会社 S H I F T
代表者名 代表取締役社長 丹下 大
(コード番号：3697 プライム市場)
問合せ先 取締役兼 CFO 服部 太一
(TEL. 03-6809-1165)

第18回定時株主総会

「第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く）7名選任の件」に関する ISS社及びグラスルイス社の反対推奨に対する当社の見解について

今般、2023年11月24日開催予定の第18回定時株主総会に付議する「第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く）7名選任の件」に関し、議決権行使助言会社の Institutional Shareholder Services Inc.（以下、「ISS社」という。）及び Glass, Lewis & Co., LLC（以下、「グラスルイス社」という。）が候補者番号1の丹下 大氏の選任に対して、反対推奨をしているとの情報を入手いたしました。

以下にて、当社の見解を補足説明させていただきます。株主の皆様におかれましては、当社の現状をご理解いただき、議決権行使の判断をしていただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

1. ISS社及びグラスルイス社の反対推奨の内容

ISS社では、政策保有株式の保有額が連結純資産額の20%以上である場合に、経営トップの取締役選任に当たり株主に対して反対を推奨する、という定量基準を定めております。

また、グラスルイス社では、政策保有株式の保有額が連結純資産額の10%以上である場合に、取締役会議長の選任に当たり株主に対して反対を推奨する、という定量基準を定めております。ただし、基準値を超える政策保有株式を保有している場合であっても、その割合が20%未満で、過去5年間のROEの平均値が5%以上である場合には、反対推奨の助言を控える例外も設けられております。

2. 当社の見解

(1) 政策保有株式における持合いは行っていない。

ISS社、グラスルイス社ともに政策保有株式の保有基準を設定している趣旨は、日本において広く行われてきた、経済的な合理性を欠く株式の相互保有と、それによるコーポレートガバナンスの形骸化の可能性であると考えられます。この点、当社が保有する上場株式については、投資先企業が当社株式を保有しておらず（※）、両社の提唱するコーポレートガバナンス上の問題は顕在化していないと考えております。

※2022年8月期有価証券報告書P.48参照

[https://contents.xj-](https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS95685/fceeb1c4/e2b9/4560/8b09/12712d874621/S100PPVI.pdf)

[storage.jp/xcontents/AS95685/fceeb1c4/e2b9/4560/8b09/12712d874621/S100PPVI.pdf](https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS95685/fceeb1c4/e2b9/4560/8b09/12712d874621/S100PPVI.pdf)

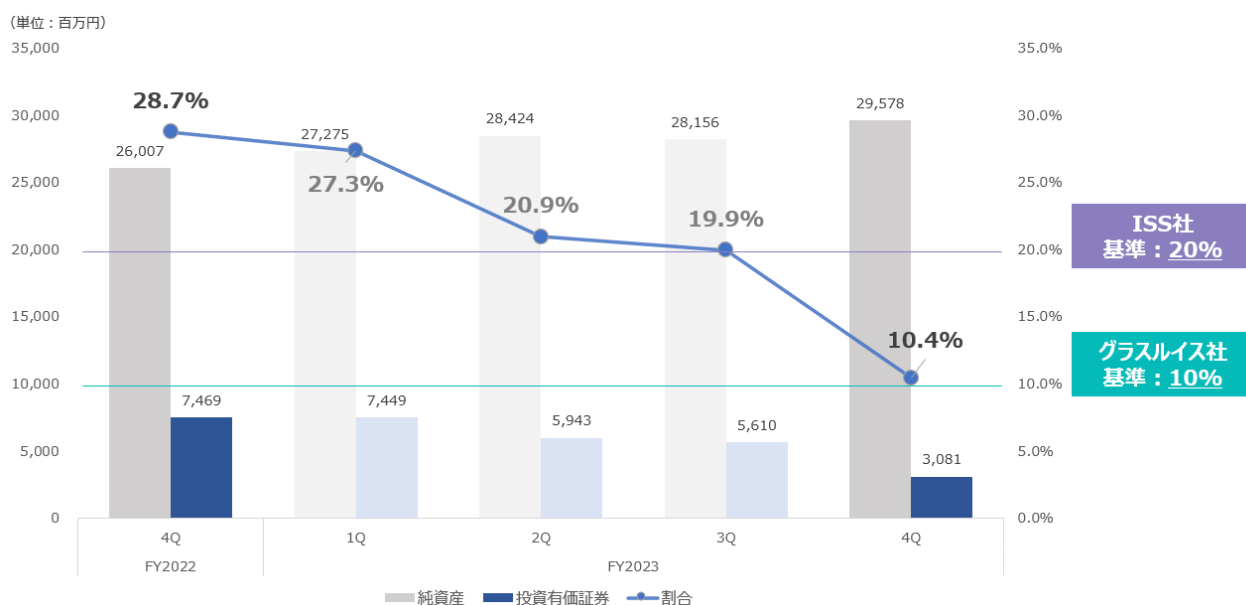
(2) 2023年8月末における投資有価証券の額の純資産の額に対する割合は10.4%である。

ISS社が反対を推奨するに際して算定に利用した2022年8月末から2023年8月末までの連結貸借対照表に計上した投資有価証券の額及び純資産の額、並びに純資産の額に対する投資有価証券の額の割合は下図のとおりであります。2023年8月末におけるその割合は10.4% (※) と、ISS社の基準である20%を大きく下回っております。

これは、2023年8月期に保有していた一部の株式を売却したこと等によるものであります。

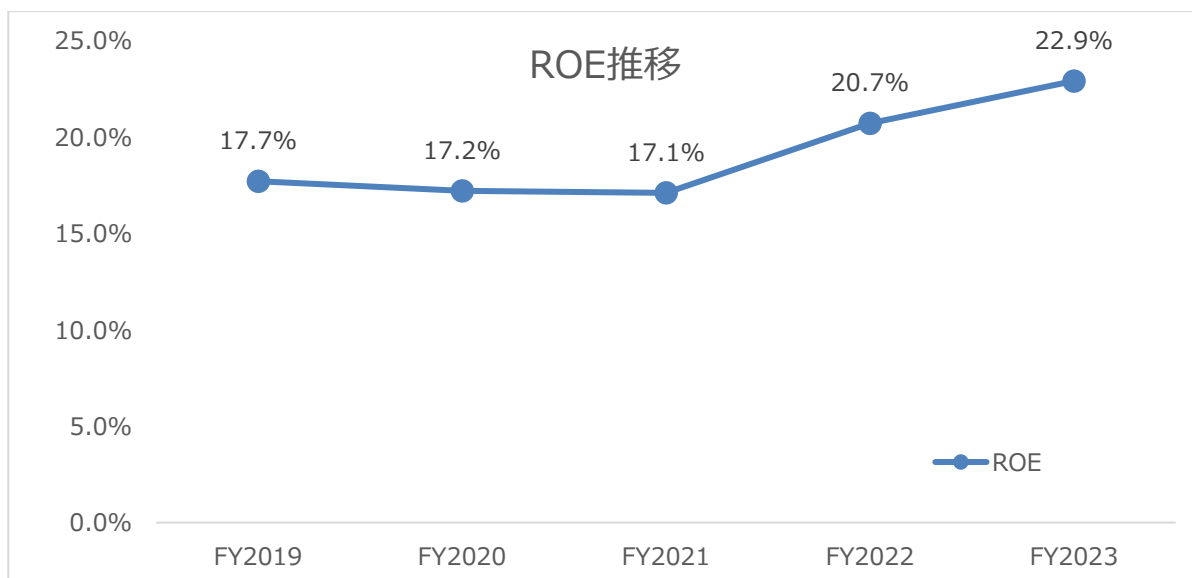
※第18回定時株主総会招集ご通知P.40連結貸借対照表の投資有価証券の額(3,081百万円)と純資産の額(29,578百万円)より算出

https://www.cdn.shiftinc.jp/assets/doc/ir/18th_Annual_General_Meeting.pdf



(3) 過去5年間のROEの平均値は19.1%である。

グラスルイス社においては、政策保有株式の保有額の純資産の額に対する割合が10%以上20%未満の場合、過去5年間のROEの平均値が5%以上であれば、反対推奨の助言はしないとあります。当社における過去5年間のROEは下図のとおりであり、その平均値は19.1%であります。



当社は従前より高い利益率を伴った事業拡大を継続してきました。2024年8月期においても、引き続き事業の拡大を見込んでおります。それに伴い、純資産の額も増加することが見込まれます。よって、政策保有株式の額の純資産の額に対する割合は逡減していくものと考えております。

<参考>2024年8月期通期業績予想

- ・売上高：114,000百万円～122,000百万円
- ・親会社株主に帰属する当期純利益：7,300百万円～10,000百万円

なお、今後、事業運営にとって必要な場合には、株式の取得を行う可能性はあるものの、政策保有株式の額の純資産の額に対する割合は、10%を下回る水準で推移する見込みであります。

株主の皆様におかれましては、上記当社における株式保有の現状をご考慮いただき、当社取締役選任議案にご賛同いただきますようお願い申し上げます。

以上

<本リリースに関するお問い合わせ先>
株式会社 SHIFT IR室
メール：ir_info@shiftinc.jp